

決算特別委員会の審査報告

10月12日、19日、22日、29日、30日、11月2日、6日の計7日間で審査を行いました。なお、最終日には各会派が総括審査を行い採決し、すべて原案のとおり可決しました。

市民・保健福祉

返還命令し、資力に応じた返還してもらっている。

○ 緊急通報装置の設置基準は、健康介護課長 65歳以上の高齢者、障害者、ろっあ者などで、安否確認や緊急時の連絡手段として取り組んでいく。

○ 起業者育成施設 (Diegg) の利用状況は、産業政策課長 19年10月現在で33室中31室、28事業者が利用している。

○ 地産地消の取り組みは、農政課長 学校給食で

返還命令し、資力に応じた返還してもらっている。

○ 住宅新築資金貸付金の回収率が約24%と低い。回収の見直しは、市民部長 一部事務組合と連携し、法的手段も視野に入れ、滞納整理に取り組んでいく。

経済環境・水道等

○ 起業者育成施設 (Diegg) の利用状況は、産業政策課長 19年10月現在で33室中31室、28事業者が利用している。

○ 地産地消の取り組みは、農政課長 学校給食で

○ 起業者育成施設 (Diegg) の利用状況は、産業政策課長 19年10月現在で33室中31室、28事業者が利用している。

○ 地産地消の取り組みは、農政課長 学校給食で

○ 起業者育成施設 (Diegg) の利用状況は、産業政策課長 19年10月現在で33室中31室、28事業者が利用している。

○ 地産地消の取り組みは、農政課長 学校給食で



職員からリサイクルプラザ工場棟の説明を聴く委員

市長公室・安心まちづくり室・総務・消防等

○ 区、自治会からの防犯灯設置要望が非常に多いが、市の対応は、安心まちづくり室課長 財政上の課題があり、区、自治会長と相談し、設置場所を決めている。

○ 市債残高の今後の動向は、企画財政課長 市制以降伸びていたが、18年度に初めて減少。三山木区画整理事業も最終段階に入り、今後は減少するものと考えられる。

○ 京都府の衛星通信系防犯情報システムとは、安心まちづくり室課長 衛星での情報伝達、府との双方機能で、災害等の通信不能時に効果を発揮。迅速な災害体制が可能となる。

○ 財政健全化計画に

教育

出されているが、対応は、安心まちづくり室課長 同課は、バリアフリー法による乗降客数の基準を満たしていないため、難しい。

○ 給食費の滞納状況は、また、回収方法は、学校教育課長 18年度で12件、約22万円。郵送、家庭訪問による督促を行っている。

○ 本市の情報教育推進事業の特徴は、学校教育統括主幹 教師にノートパソコンを貸し、各教室にLAN回線を接続。インターネットを利用した調べ学習などに活用。また、授業での活用方法等、教師へのサポート体制を充実。

○ 市内小学校教諭のUSBメモリ紛失事件で

建設

○ 新名神高速道路の進捗状況は、建設部総括室課長 現在、設計協議を実施。来年度から用地買収にかかり、平成28年に完成予定。

○ 三山木地区区画整理事業の進捗状況は、三山木整備課長 現在80%の進捗。23年度の完成を目指し、公共施設・道路等を整備し、地権者への換地を進める。

○ 三山木駅前に対する市民の要望は、三山木整備課長 南部の住民、学生を対象としたアンケートを実施。スーパー等の出店要望や安心して暮らすため、明るくしてほしいとの意見が多くあった。

○ JR、近鉄高架下の土地利用はどうか。三山木整備課長 鉄道事業者と公共施設の利用ができるか協議中。また、庁内でも利用方法を検討。

○ 街路樹の根の成長により、道路補修が必要となる場所が多い。維持管理しやすいようにすべき。



暫定供用開始した三山木駅前広場

総括審査(各会派の意見)

一新会

中、その根幹をなす「行政改革」を念頭に置き、全職員が一丸となって、本市が目指す都市像「緑

緑政会

一層の努力をそのための、職員意識改革が必須。新たな産業立地や企業誘致で財源の確保を、危機

共産党

いものになっている。国保税の引き下げ、障害者自立支援法による利用者負担増や介護保険料の軽

民主党

市税等の徴収率は向上しているが、悪質な滞納の繰り出しは検討された

公明党

財政が厳しい中、前向きに行財政運営をされて

用語の解説

資格証明書 (2面2段目) 資格証明書とは、保険税を滞納している人に対する、保険証の代わりに交付する国保の被保険者の資格を証明する手帳のことである。医療費が全額自己負担となり、後で国保の窓口の一部負担金を除いた額を支給申請してもらうことになる。

緊急通報装置 (3面4段目) 緊急通報装置とは、こ

簡単操作によって緊急事態が自動的に受信センターなどに通報される装置をいう。独居老人や身体障害者などが急病や突然の事故に備え、日常生活の不安を解消することを目的とする。

USBメモリ (3面3段目) USBメモリとは、パソコンのUSBポートに挿すだけでデータの読み書きができる記憶メディアである。小型・軽量で持ち運びが容易であり、大容量の画像や動画ファイルなど様々なデータを保存することができる。